

シタキソウ *Jasminanthes mucronata* (Blanco) W.D.Stevens et P.T.Li

【評価理由】

個体数階級 3、集団数階級 3、生育環境階級 3、人為圧階級 2、固有性階級 1、総点 12。暖地性のある植物で、愛知県では生育地も個体数も少ない。

【形態】

つる性で常緑の多年生草本。茎は切ると白い乳液が出て、下部は木質となる。葉は対生し、1.5～3cmの柄があり、葉身は卵形～円状楕円形、長さ6～17cm、幅3～12cm、先端は鋭頭、基部は心形、全縁、質はやや厚いがやわらかい。花期は6月、花は葉腋から出る集散花序に2～3個つき、白色で芳香があり、花冠は12～14mmの筒部があり、その先は5裂して開出し、裂片は長さ2～2.3cmである。袋果は水平に開出し、長さ10～12cm、幅約2cmである。

【分布の概要】

【県内の分布】

東：8 鳳来北東部 (芹沢 83840, 2008-11-6)、
9 鳳来南部 (小林 49539, 1993-11-10)、15 豊橋北部 (小林 49932, 1994-1-29)、18 田原西部 (小林 72482, 2001-6-17)。

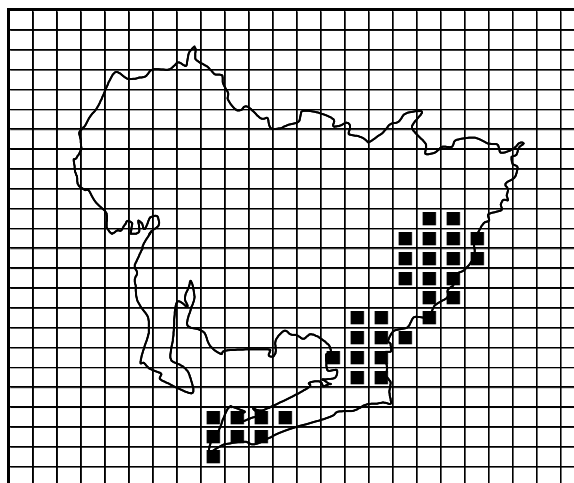
【国内の分布】

本州 (千葉以西の太平洋側)、四国、九州、琉球。

【世界の分布】

日本固有種。

要配慮地区図



【生育地の環境／生態的特性】

通常は海岸近くの林内に生育する。愛知県では、やや内陸部にも見られる。

	山地	丘陵	平野	海浜
森林	○	○		
草・岩				
湿地				
水域				

【現在の生育状況／減少の要因】

田原西部では比較的個体数が多いが、他では少ない。湖西丘陵の静岡県側には多い。開発等によって生育地が破壊されなければ、このまま存続するものと思われる。

【保全上の留意点】

生育地の林を保全することが必要である。

【特記事項】

シタキリソウとも言う。

【関連文献】

保草本 I p.211, 平草本 III p.44, 平新版 4 p.312.